

## 作品「うさぎの風 2023」

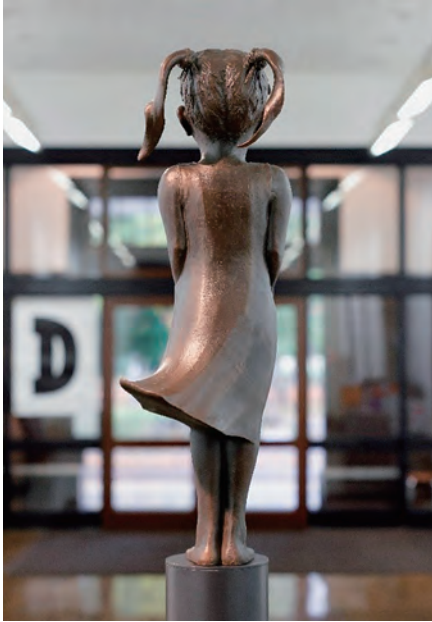
Hare Wind 2023

椎名 澄子  
Sumiko SHIINA

旭川市立大学短期大学部幼児教育学科



ブロンズ／300×400×2200（mm／鉄台座含む）



#### 【作品概要】

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館のロビー空間に合わせ、天井の高さを生かして制作した作品である。2つに結んだ少女の髪が風に踊り、兎の耳のように見えることからタイトルを「うさぎの風」と名付け、野兎のように逞しく、風の中を走り回る子どもの姿を表現した。2017年制作に続くシリーズ作品の2023年新作である。

作品本体のサイズは大きくはないが、周囲の風を大きく動かすイメージで制作し、今回の展覧会のテーマである「風にふれて」の言葉の意味を象徴する作品となった。

これまでの作品同様に蠟型鑄造技法を用いており、作品の大部分は粘土原形から石膏型を取り、そこにロウを流し込みロウ原形を作製し、その後ブロンズ素材を鑄込むという手順で制作している。少女の髪と右下の植物状のものは、粘土原形を作らずにロウの手びねり技法を用いて制作している。